

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 赤磐市		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒709-0898 岡山県赤磐市下市344	
本票作成	部署名：市民生活部 環境課				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	地方自治体として、住民が健康で安全に安心して暮らせる快適なまちづくりや活力あるまちづくりのための事業を行っている。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	環境センター		赤磐市津崎197-1	
	②	山陽浄化センター		赤磐市立川373-1	
	③	桜が丘東浄化センター		赤磐市桜が丘東3-3-641	
	④	赤磐市役所		赤磐市下市344	
	⑤	熊山浄化センター		赤磐市松木410	
⑥	熊山診療所		赤磐市松木621-4		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 160 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成30年度)	(令和2)年度排出量	目標年度(令和3年度)
	6,484 t CO ₂	5,519 t CO ₂	6,289 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和2)年度排出量
	①	環境センター	1,250 t CO ₂
	②	山陽浄化センター	805 t CO ₂
	③	桜が丘東浄化センター	526 t CO ₂
	④	赤磐市役所	295 t CO ₂
	⑤	熊山浄化センター	211 t CO ₂
⑥	熊山診療所	100 t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：	令和元年度	～	令和3年度	(3箇年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(2)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	14.9 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和2年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

各施設維持管理担当者は光熱水費削減のため休憩時の消灯などの省エネ活動を実施中だが、使用電力量はほぼ横ばいとなった(R元年度9,047,973kWh→R2年度8,947,343kWh)。排出量削減の大きな要因としては中国電力のCO₂排出係数の改善(R元年度0.000618→R2年度0.000561)によるものと、バイオ燃料の活用等による化石燃料の使用量削減によるものである。

【推進体制】

市長を本部長とした庁内組織を活用して推進本部を組織し、事務局を環境課として計画の推進を図っている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
赤磐市役所本庁舎及び関連施設	<p>(R2年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none">・昼休みにおける庁舎内消灯・トイレ等の利用者が無い箇所の消灯・クールビズ、ウォームビズの推進・バイオ燃料の活用等による化石燃料使用量の削減・その他省エネ施策への協力 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none">・昼休みにおける庁舎内消灯・トイレ等の利用者が無い箇所の消灯・クールビズ、ウォームビズの推進・バイオ燃料の活用等による化石燃料使用量の削減・ノーマイカーデーの実施・スマート通勤おかやまの実施・ライトダウンキャンペーンの実施・その他省エネ施策への協力

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--